

No.	フレッシュマン セミナー 到達目標	評価基準					評価方法		
		90%以上	89～80%	79～70%	69～60%	59%以下	小レポート等	プレゼン、発 表	最終レポート
		S（極めて優れて いる）	A（優れてい る）	B（良い）	C（普通）	D（1つでもあ てはまれば不合 格）			
1	ビジュアルデザ イン学科におけ る学習目的・方 法を理解する （キャリア形 成）	ビジュアルデザ イン学科におけ る学習目的・方 法について、十 分理解し、さら に自身の学びに 反映できる。	ビジュアルデザ イン学科におけ る学習目的・方 法について、人 に説明できるレ ベルまで理解で きる。	ビジュアルデザ イン学科におけ る学習目的・方 法について、理 解できる。	ビジュアルデザ イン学科におけ る学習目的・方 法について、一 定の理解がで る。	ビジュアルデザ イン学科におけ る学習目的・方 法が理解できな い。	○	○	
2	基本的な文章作 法に基づいてレ ポートを書くこ とができる （キャリア形 成）	基本的な文章表 現に基づき、自 ら調べた具体的 な事例を挙げ、 説得力を有する 説明をレポート としてまとめる ことができる	基本的な文章表 現に基づき、具 体的な事例を挙 げた説明を含 め、レポートと してまとめるこ とができる	基本的な文章表 現に基づき、分 かりやすい説明 と共に、レポート としてまとめる ことができる	基本的な文章作 法に基づいて簡 単なレポートを 書くことができ る	基本的な文章表 現に基づいた簡 易なレポートを 書くことができ ない、若しくは 正統な理由無し に指定期限に提 出ししない	○		○
3	プレゼンテー ションの技法の 基本的事項を実 践できる（キャ リア形成）	論理的、且つ分 かりやすく構成 されており、興 味をもって、聴 衆が理解できる ものとなっている	わかりやすく構 成されており、 聴衆が理解出来 る内容となってい る	プレゼンテー ションされた内 容を、全般にわ たり聴衆が理解 することが出来 る	基本的なプレゼ ンテーションを 行う事ができる が、聴衆が一部 の内容を理解す ることができな い	基本的なプレゼ ンテーションを 実践できない		○	
4	自己の将来展望 について主体的 に考えることが できる（キャリ ア形成）	中長期的な計画 に基づき、自己 の将来につい て、詳細かつ実 現可能なレベル の展望を主体的 に考えることが できる	自己の将来につ いて、かなり具 体性を持った展 望を主体的に考 えることができる	自己の将来につ いて、ある程度 の具体性を持った 展望を主体的 に考えることが できる	自己の将来展望 について、具体 的でなくとも、 概ね主体的に考 えることができ る	自己の将来展望 について考える ことができない	○		○
							50	20	30